

Science and Technology of Advanced Materials誌を例とするオープンアクセスジャーナルの安定化の条件 学術誌創刊350年の歴史に寄せて

Conditions to stabilize open access journal publishing with a case study of Science and Technology of Advanced Materials - A moment in the 350-year history of journal publishing

*谷藤 幹子¹

*Mikiko Tanifuji¹

1.物質・材料研究機構 科学情報室

1.National Institute for Materials Science Library

オープンアクセスという新たな論文配信を転機として、日本政府は日本発学術誌の国際発信力強化を支援し、同時に日本発論文のオープンアクセス化を後押ししている。学協会、図書館、大学・研究機関は、この政府方針を受けて何らかのオープンアクセス化に取り組み、何らかの方法でその成果を示す期待の中に置かれている。本講演では、投稿者負担金（APC）を含めオープンアクセスジャーナルの今後の課題や可能性を視野に、物質・材料研究機構（NIMS）が支援する材料科学分野でのゴールドオープンアクセスジャーナル『Science and Technology of Advanced Materials (STAM)』誌を例に、購読誌として7年、OA誌として8年の歩みに学ぶ安定的運営と発展するための出版条件を考察する。

（参考文献：https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/58/5/58_372/_pdf）

キーワード：オープンサイエンス政策、オープンアクセスジャーナル、投稿者負担金、持続的ジャーナル出版
Keywords: Open science policy, Open access journals, APC (article processing charges), sustainable journal publishing